

## 成績表の自動作成（１）

「実力試験の個人別成績表を、自動的に作る」というテーマで、仕組みを作ってみます。  
（１）では、成績一覧から、個別の集計表を作るところまでです。

### 1. 成績一覧シートの作成

①シート名を「第1回」にします  
(Aのところ)。(※1)

②番号・氏名などのデータを、  
入力します。点数は0～100の適  
当な数値でいいので、  
=round(rand()\*100,0)  
という関数にしましょう。

③「ホーム」タブ→「テーブルとして書  
式設定」で、好みのデザインにします。  
(※2)

④「第1回」シートをコピーして、「第  
2回」～「第4回」のシートも作ります。  
(※1) (※2)

⑤「第1回」～「第4回」のデータが何  
度も再計算されないように、コピー→「値  
の貼り付け」で数値にしておきます。

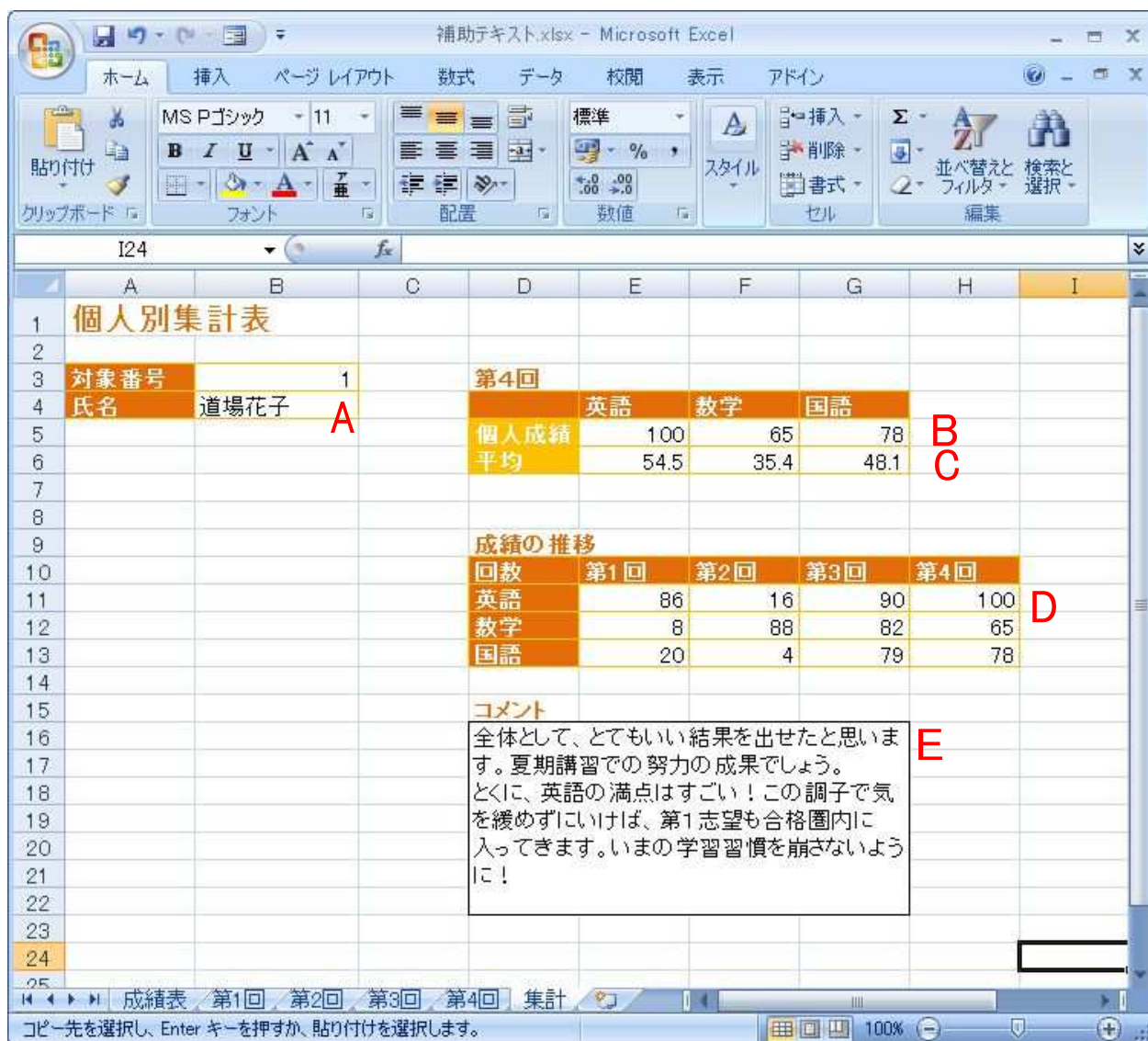
番号	氏名	英語	数学	国語
1	道場花子	86	8	20
2	菅直人	58	92	87
3	野田佳彦	51	79	83
4	岡田克也	3	91	13
5	道場太郎	23	40	47
6	直嶋正行	36	86	28
7	北沢俊美	50	16	72
8	小沢鋭仁	91	22	11
9	千葉景子	76	19	96
10	原口一博	17	21	53
11	長妻昭	45	28	49
12	川端達夫	73	11	71
13	山田正彦	67	5	22
14	前原誠司	94	100	84
15	仙谷由人	70	31	29
16	中井治	74	78	2
17	自見庄三郎	65	15	36
18	蓮舫	13	49	96
19	荒井聡	72	30	86
20	玄葉光一郎	48	13	22

(※1)「第1回」などのシート名は、後で関数にも使います。そのとき、「1」などの英数文字は、半角か全角かを間違えると、関数がエラーになってしまいます。  
「シート名の英数文字は、半角にする」など、自分の行動を統一しておきましょう。

(※2) フィルタが自動設定されます。邪魔だったら、「データ」タブ→「フィルタ」を解除しておきましょう。  
テーブル名が自動的に「テーブル1」などに設定されてしまいます。わかりやすくするため、「数式」タブ→「名前の管理」で、テーブル名を修正するといいかも。

## 2. 集計シートの作成

「対象番号」を入力したら、データが自動的に表示されるようにします。どのような関数にしたらいいか、考えてみましょう。(解答は、次のページ)



- ①「集計」シートを作り、図のようにデザインします。「対象番号」に、1～20 の適当な数値を入れておきます。
  - ②A「対象番号」の生徒氏名が表示されるように、関数を入力します。
  - ③B 対象生徒の、第4回の教科ごとの成績が表示されるように、関数を入力します。
  - ④C 第4回の、各教科の平均点が、四捨五入して小数第1位まで表示されるようにします。
  - ⑤D 対象生徒の、第1回～第4回の成績が表示されるように、関数を入力します。
  - ⑥E セルを結合して、見やすいように「左揃え」「上下中央揃え」にしておきます。コメントは、成績の状況を見て、手入力します。
- [発展学習]「総合成績を平均と比較して、良い・ふつう・悪いという状況に合わせて、自動的にコメントが入力される」というシステムを作れないか、考えてみましょう。

[解答例]

② =vlookup(B3, テーブル 4, 2, false)

↑

「テーブル 4」が、「第 4 回」シートの表部分の名前になっているかどうか、  
数字部分が、全角文字か半角文字か注意してください。

手入力せず、「第 4 回」シートの A4～E30 部分をドラッグして入力したほうがいい。

③英語 (E5 セル) だったら、 =vlookup(\$B\$3, テーブル 4, 3, false)

これを、数学・国語にもコピーし、対象の列番号を「4」「5」に修正します。

④英語 (E6 セル) だったら、 =round(average(テーブル 4[英語]), 1)

これを、数学・国語にもコピーし、average の対象を「数学」「国語」に修正します。

⑤第 1 回英語 (E11 セル) だったら、 =vlookup(\$B\$3, テーブル 1, 3, false)

これをコピーし、参照テーブル名や列番号を修正します。